



千代田区立麴町幼稚園

園 長 木村 恭子
PTA 会長 岩崎 隼人

所在地 〒102-0083 東京都千代田区麴町 2-8
電 話 (3263)7330 FAX(3263)7400
最寄駅 半蔵門(東京メトロ半蔵門線)
麴町(東京メトロ有楽町線)
四ツ谷・市ヶ谷 (JR)

1 教 育 目 標

(1) 幼稚園の教育目標

人権尊重の精神を培い、意欲的にものごとに取り組み、たくましく生きるための健康・体力を身に付け、心豊かで思いやりのある幼児の育成を目指す。

- ◎ かんがえる子ども（身近な環境に主体的に関わり、考えたり試したりする子ども）
- なかよくあそぶ子ども（友達と想いを伝え合い、一緒に遊びを楽しむ子ども）
- たくましい子ども（目的に向かって粘り強く取り組み、元気に遊ぶ子ども）

(2) 幼稚園の教育目標を達成するための基本方針

主体的に遊びに取り組み、自分の力を十分に発揮する楽しさが味わえるように、教師との信頼関係を基盤に、幼児一人一人のよさやその子らしさを見極め、発達に即した指導を意図的・計画的に行う。

◎様々な物や事象に興味や関心をもち、主体的・探究的にものごとに関わる態度を育む。

【自立心・社会生活との関わり、思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重】

◎直接的な体験を通して思考力の芽生えを育むとともに、物の性質や数量、図形、標識や文字などへの感覚を豊かにする。

【思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重、数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】

◎SDGs の理念に基づき、環境や資源・食べ物などを大切に作る気持ちを育み、持続可能な社会の創り手となる基礎を培う。

【社会生活との関わり、自然との関わり・生命尊重、数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】

◎命の尊さを感じ、命を大切にしようとする気持ちや態度を育む。

【道徳性・規範意識の芽生え、自然との関わり・生命尊重】

○自分の思いや考えを様々な方法で伝え合うことを通して、人と関わる力を養う。

【協同性・道徳性・規範意識の芽生え、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現】

○様々な人との関わりを通して、互いのよさや自分との差異など多様性を認め、自他を尊重する気持ちを育む。

【自立心・協同性、社会生活との関わり】

○日本の文化や世界の文化への関心や親しみを深め、社会への関心を広げる中で、国際理解への意識の芽生えを培い、多様性を尊重する心を育む。

【社会生活との関わり、道徳性・規範意識の芽生え】

○併設小学校、近隣保育所等との連携を深め、就学前教育及び架け橋期の教育の充実を図り、幼児期と児童期の発達や学びの連続性を保障する。

【社会生活との関わり、思考力の芽生え】

○全教職員、関係諸機関（特別支援学校等を含む）、保護者との連携のもと発達や特性を理解・共有した指導を充実させ、特別支援教育及び、個に応じた教育を推進し、個別最適な学びを保障する。

【道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり】

○目的に向かって遊ぶ楽しさを十分に味わうことを通して、あきらめずに取り組む態度を培う。

【健康な心と体、自立心、思考力の芽生え】

○自分の力を発揮して遊びや生活を進める中で、満足感や達成感を重ね、持続可能な社会の創り手としての基礎となる力を育む。

【自立心・社会生活との関わり】

○健康な体づくりを推進し、体を動かす心地よさや楽しさを十分に味わう中で、いろいろな動きをすることへの興味や意欲を高める。

【健康な心と体、思考力の芽生え】

◎「生命（いのち）の安全教育」等の推進を通して、自他の体や命の大切さを知り、守ったり大事にしようとしたりする感覚を磨く。

【健康な心と体、道徳性・規範意識の芽生え、自然との関わり・生命尊重】

○家庭・地域社会の期待に応える質の高い幼稚園運営を進めるために、幼稚園運営連絡会や園評価（自己評価・学校関係者評価・保護者アンケート）を活かすとともに、開かれた教育課程のもと、全教職員でカリキュラム・マネジメントの推進を図る。

○「ちよだスマートスクール」の取組を進め、ICT 機器の活用等を通じた教育の質向上、働き方改革を推進する。

2 指導の重点

(1) 教育課程の編成、実施にかかわる指導の重点

年齢に応じた指導を充実させるための指導の重点

＜3歳児＞教師との信頼関係を基盤に、安心感をもって幼稚園生活を送る。

＜4歳児＞興味・関心を広げ、友達と関わりながら遊ぶことを十分に楽しむ。

＜5歳児＞目的や見通しをもち、友達と協力しながら遊びや生活に取り組み、充実感を味わう。

◎様々な物や事象への興味や関心を広げ高めるために、年間指導計画に基づき年齢に適した様々な素材や用具を意図的・計画的に提示し、多様な遊びを楽しめるようにする。(環境・表現)

◎主体的・対話的で深い学びが保障される質の高い教育が展開されるよう、身近な人との関わりを通して興味や関心を広げながら体験を豊かにする環境を、意図的・計画的に構成する。

(環境・人間関係・健康)

◎広い視野で様々な情報から自分の考えを形成する力の基礎を育めるよう、図書館司書等と連携を図り絵本やICTを活用する。年齢や発達に即した方法や内容での活用を工夫し、SDGsの理念にふれたり、日本や他国の文化への興味・関心を高めたりする。(環境・言葉)

◎数量や文字などに関する興味や関心、感覚を養えるように、発達に応じた表示を工夫したり、興味を受け止めたりすることで、親しむ体験を重ねていけるようにする。(環境・健康・言葉)

◎自然に親しみ環境を大切にしようとする気持ちを育むために、多様な直接体験を通し、自然の美しさや不思議さを感じられるようにするとともに、日常の中で物や自然を慈しむ態度を養う。(環境・表現)

◎様々な人や動植物との関わりを体験したり、発達に応じた安全指導を積み重ねたりして、自他の命の大切さを感じられる機会を得られるようにする。(人間関係・環境)

◎食への関心を高めたり、食べ物を大事にしようとする気持ちを育んだりできるよう、園庭での野菜や米の栽培・世話・収穫、収穫物を食する体験などを計画的に実施する。専門家や地域の商店との連携を生かし、食育の充実を図る。

◎安心感や安定感のもと、自分らしさや力を伸び伸び発揮したり、周囲の人への親しみの気持ちを深めたりできるよう、一人一人の言動に温かい関心を寄せ幼児との信頼関係を築く。(人間関係・表現)

◎自分の思いや考えを話したり、相手の話を聞いたりするなど、コミュニケーションの基礎となる力を培う。思いや考えを出し合う場面や活動を大切に、意図的・計画的に取り入れたり、仲立ちや代弁など発達に応じた援助をしたりする。(人間関係・言葉・表現)

◎自己肯定感を高めるとともに、互いのよさやその子らしさを認め合える関係の基盤を作るために、個々の発達の特性に応じた指導を行い、共に生きていく態度を育む。関係諸機関との連携を進め、幼児理解をより深められるようにする。(環境・人間関係)

◎目的をもっていろいろなことに挑戦する遊びを通して、一つのことをやり遂げる充実感や満足感を味わう経験を重ねていけるようにする。(健康)

◎「学校2020レガシー」として「スポーツ志向」を位置付け、教師や友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを味わう経験を積み重ねる中で、多様な動きへの関心や意欲を高め、身体諸機能の発達を促す。(健康・人間関係)

(2) 環境の構成

◎「子育て・教育ビジョン」の主旨を踏まえた開かれた教育課程の推進のため「KOJIMACHIカリキュラム」を活用し、家庭や地域に園教育を分かりやすく伝えることで、保護者の教育活動に対する理解を深め、共に育て育つ基盤となる関係を築く。

◎身近な環境を大切にすることを育むために、SDGsの理念に基づいた活動を計画的に実施できるよう、「環境教育推進日」を毎月設定し、環境教育を着実に推進する。

◎教職員に信頼感をもち、幼児も保護者も安心して園生活を送るために、ティーム保育のよさを最大限に活用し、保育記録や打ち合わせ、ねらいの共有などを通して職員間での情報交換を密にし、全職員が連携して幼児を見守り育てていく環境を整える。('よさやその子らしさ発見シート'の活用)・教職員が得

意分野を生かす交換保育「こうじまちーずタイム」の充実)

- 互いに気持ちよく生活するために必要なルールやマナーを守ろうとする気持ちを育むため、必要性を理解できる指導の工夫や、他者の立場に立って考えられるような働きかけを行う。
- 異年齢の幼児同士の交流を通した多様な関わりを楽しむ機会を継続して積み重ね、互いに親しみを寄せ合えるよう環境構成の工夫を図る。(日常の遊びや生活での交流・運動タイム合同開催・縦割り活動など)
- 麹町小学校、麹町保育園とは、互いの教育内容の理解に努めながら互恵性のある連携教育の推進を図る。交流活動や合同行事の実践においては、事前事後の打ち合わせを丁寧に行い、時期や実態、ねらいに応じて柔軟に内容や方法を工夫した連携を行う。また、互いの教育に理解を深められるよう、研究授業・保育への参加などを積極的に実施し、保幼小の円滑な接続・連携を率先して行う。
- 自分の住む地域への愛着をもてるよう、保育園・特養老人ホーム・地域商店などの訪問を実施し、地域の方との触れ合いを楽しむ。
- 一人一人の発達の特性に応じた指導を充実するために、スクールカウンセラーや巡回アドバイザー、特別支援学校のセンター的機能の活用等、関係諸機関と連携し、多面的な幼児理解に努める。また、園内委員会を組織し、教育支援シートの作成、定期的な特別支援教育に関する打ち合わせの実施、日々の支援記録の活用など、全職員で一貫した姿勢で保育に当たる体制を確立する。
- 目的や目標に向かって挑戦したり、探究したりすることを楽しめるような環境の構成を工夫する。やり遂げる充実感や満足感を味わえるよう、「年間指導計画」を活用したり、講師と連携を図ったりし、有効な指導方法や経験内容を模索するなど教職員も挑戦や探究を楽しむ。
- 園生活のリズムを整え、友達や教師と一緒に体を動かして遊ぶことの楽しさを感じられるよう、「36の具体的な動き」、コオーディネーショントレーニングの理論等を視点としながら意図的に運動遊びの中に取り入れ、3年間を見通した運動遊びの充実を図る。
- 体育館・校庭・温水プールなどの施設を有効に活用し、家庭では経験しにくい動きや遊びを意図的に取り入れ体力向上を目指すと共に、その経験内容や目的を保護者や地域にも積極的に発信する。

(3) その他

- 保護者や地域の方、未就園児家庭が園の教育への理解を深め、親子ともに園生活を楽しむことができるよう、ポートフォリオや動画、「すぐえる」、ホームページなど、映像やICTを活用し、積極的に情報を発信していく。
- 未就園児親子が来園し教育活動を見たり、一緒に楽しんだりする未就園児クラス「ひよこ組」を実施する。季節的行事や園内の環境を活用した取組など多様な内容を提示し、地域における子育て支援機能の充実を図るとともに、幼稚園教育の意義や価値を積極的に発信する。
- 「保護者・地域も共に楽しむ園生活」となるよう、園公開や保育参観・参加、グループ参観、希望の保護者が参観できる行事など、保護者や地域のニーズに応じながら参観や参加の機会や形態を柔軟に設ける。
- スクールカウンセラー・巡回アドバイザーと連携して、家庭における望ましい幼児教育について理解を図る。保護者のニーズや現状を踏まえた取組となるよう考慮し、子育て支援の充実を推進する。
- 預かり保育の拡充に当たり、幼児の安心・安全な生活を保障する環境や保育内容を工夫する。また、教育課程内外の保育内容や個々の幼児の情報が確実に家庭に伝わるよう教職員体制を整える。
- 日常の園生活と異なる体験をする中で、経験や知識を広げる楽しさを味わえるよう、「特色ある教育活動」として地域の方や保護者、専門家の協力を得て、季節行事、日本や世界の伝統文化に親しむ機会の充実を図る。
- 安全な生活を送るための適切な行動を身に付けるよう、計画的に安全指導を実践する。園生活における約束事を職員間で共有するとともに、関係諸機関とも連携を図りながら安全対策に取り組み、幼児の安全を保障する体制を整える。
- 幼児が安心して園生活を送れるよう、基本的な生活習慣の自立を支援するために、個々の幼児の成長と課題を把握し、家庭と連携して指導に当たっていく。

<園内研究>

○研究主題を「感じ・考え、豊かな経験が生まれる環境構成や援助」と設定し、その実現を目指す。

Ⅱ 主な行事

毎月・・・避難訓練、安全指導、誕生会、発育測定、環境促進日、お話フェアリー（ ）内の数字は年齢

4月	始業式、入園式、定期健康診断<始>、学級懇談会、保護者会、PTA 総会、離任式	11月	合同こども会(5)、区一斉清掃、おそとでスポーツ、個人面談、幼保小交流(5)、特別養護老人ホーム訪問(5) 就園時健康診断、遠足(3)、保幼小交流(5)、5年生との交流(4,5)、やま組親子お話フェアリー(4)
5月	こどもの日の集い、麴町警察安全指導、親子遠足(4・5)、特別養護老人ホーム訪問(5)、個人面談、弁当参観、生け花体験(5)、保育園との交流(5)、田植え(5)、プール開き(4,5)、引き取り訓練、コーディネーショントレーニング	12月	学級懇談会、こどもかい(4・5) 就園時健診(面談)、文楽に親しむ、収穫パーティー、麴町警察安全指導、終業式
6月	区一斉清掃、遠足(4,5)、パネルシアターに親しむ、グループ参観(4,5)、5年生との交流(4,5) 水遊び<始>(3)、はな組おやこなかよしデー(3)、定期健康診断<終>、歯科保健教育(5)、コーディネーション、そら組親子お話フェアリー(5)	1月	始業式、鏡開き、麴町囃子・しし舞い鑑賞会、保護者会、昔遊びに親しむ、保育園との交流(5)、ヴァイオリンに親しむ、連合作品展 5年生との交流(4・5)、なかよしチャレンジ
7月	七夕、自然に親しむ(5)、七夕のお茶会、学級懇談会、雅楽に親しむ、麴町警察安全指導、終業式	2月	節分の集い、開園記念の集い、はな組こどもかい(3)、新入園児保護者会・未就園児体験入園、遠足(5) 保幼小交流(5)、もものお茶会
9月	始業式、保護者会、プール納め(4・5)、子育て親育ち講演会、麴町警察安全指導 水遊び<終>(3)、自然に親しむ(4)、はな組親子お話フェアリー(3)	3月	学級懇談会、麴町警察安全指導(5)、ひなまつり、ありがとうの会、修了式、終業式
10月	十五夜、おやこでスポーツ、麴町警察安全指導、遠足(4・5)、稲刈り(5)、園公開、遠足(3)、徒歩遠足(5)、麴町警察安全指導、遠足(全)		

*その他、ひよこ組(未就園児体験クラス)、英語であそぼ(年6回)

*上記は4月1日現在の行事予定。

Ⅲ 沿革の概要及び現況

沿革の概要

【旧麹町幼稚園】		【永田町幼稚園】	
明 17. 3. 1	麹町尋常高等小学校附属幼稚園として設立	昭 13. 4. 1	東京市永田町尋常小学校内に併設
昭 9. 8. 1	東京市麹町区麹町幼稚園と改称	昭 18. 7. 1	東京都麹町区永田町幼稚園と改称
昭 22. 4. 1	東京都千代田区立麹町幼稚園と改称	昭 22. 6. 1	東京都千代田区立永田町幼稚園と改称

【麹町幼稚園】	
平 5. 4. 1	学校設置条例の改正に伴い、東京都千代田区立千代田麹町幼稚園となる
平 6. 3. 9	学校設置条例の改正に伴い、東京都千代田区立麹町幼稚園となる
平 7. 2. 1	園歌制定
平 7. 3. 9	開園記念日制定（２月１０日）
平 8. 3. 13	園章制定
平11.11.26	平成10・11年度 千代田区教育委員会研究協力園研究発表会『幼児の生活が広がる』
平12. 3. 29	仮園舎（旧永田町小学校校舎）に移転
平15. 3. 6	麹町二丁目公共施設落成式挙行
平15. 4. 1	新園舎での教育活動を開始
平15. 4. 26	新園舎落成を祝う会を実施
平16. 2. 10	開園10周年記念集会を実施
平19. 5	ビオトープ設置 畑整備
平19.10.12	平成18・19年度 千代田区教育委員会研究協力園研究発表会『経験を力にする子ども』
平26. 2. 7	開校・開園20周年記念式典・音楽会を実施
平28.11.25	平成27・28年度 千代田区教育委員会研究協力園研究発表会『考えることを楽しむ子供の育成』
平31. 2. 9	開校・開園25周年記念式典を実施
令 2. 4. 1	専任園長を配置
令 5.10.30	令和4・5年度千代田区教育委員会研究協力園研究発表会『心わくわく！体いきいき！たくましい麹町の子～一人一人のよさやその子らしさが生きる環境や援助の工夫～』

園舎施設・規模一

現園舎	起工 平成 12.10.17 竣工 平成 15.3.6	保育室（4）	総面積 335 m ²
園舎構造	鉄筋コンクリート造り	遊戯室	119 m ²
園舎面積	1200 m ²	職員室	60 m ²
園庭	200 m ²		

教育時間

年 齢	期 間	教 育 活 動	備 考
3 歳 児	4 月 1 0 日～4 月 1 5 日	8：55～10：30	○3歳児 12：40降園 4歳児 12：50降園 5歳児 13：00降園
	4 月 1 1 日～5 月 7 日	8：55～11：20	
	5 月 8 日～5 月 1 6 日	8：55～12：30	
	5 月 1 9 日～6 月 2 7 日	8：55～13：00	
	6 月 2 7 日～3 月 1 9 日	8：55～13：40	
4 歳 児	4 月 9 日～4 月 1 0 日	8：50～11：30	
	4 月 1 1 日～3 月 1 9 日	8：50～13：50	
5 歳 児	4 月 9 日～4 月 1 0 日	8：50～11：40	
	4 月 1 1 日～3 月 1 8 日	8：50～14：00	

園児数・職員組織

令和7年5月7日 現在

年齢	組名	男	女	計	年齢	組名	男	女	計	年齢	組名	男	女	計
3歳	はな	11	9	20	4歳	やま	10	9	19	5歳	そら	14	13	27

園長、担任（3人）、フリー（1人）、副担任（3人）、預かり保育担当、事務補助、特別支援教育専門員、支援員、用務主事